

# 第二十四回前田純孝賞学生短歌コンクール入賞作品一覧

## 【中高校生の部】

### 前田純孝賞

かきむぎの季節になると父の手は寒さと目でまるでクローフのよう

兵庫県立高砂高等学校

一年

森本 董

### 【選評】

牡蠣むぎの仕事をするお父さんの「手」をうたった一首です。「手」に焦点をめて、「手」だけをクローズアップすることで、絵画にたとえたとよく分かると思いますが、しっかりした構図の作に仕上がっています。「手」がしっかりと読者の目に浮びます。

刻々と最後の試合近づいて高まる鼓動カットを直す

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 三年

松本 大輝

### 【選評】

結句の「カットを直す」がピシッと決まりました。この的確な七音によって、試合はテニスの試合であることが分かります。また今は、試合前日とか何時間前とかではなく、まさに試合直前であることが読者に分かります。すばらしいですね。

### 準前田純孝賞

数学の一つの壁に君臨し私を悩ますチェバ・メネラウス

岩手県立福岡高等学校

一年

平尾 朋葉

流産の牛をお墓に埋める時ひときわ大きく鳴く牛がいる

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

二年

中村 颯吾

夕暮れに母と私の影法師今じゃすっかりおんなじ背丈

兵庫県立浜坂高等学校

一年

毛戸 あかり

落ちてきた枯れ葉のように彼の手が我が手のひらに重ならないかな

大阪府立夕陽丘高等学校

一年

渡邊 めい

### 新温泉町長賞

冬の夜に村がにぎわう夜の神楽歌って舞って飲んで酔って

宮崎県西米良村立西米良中学校

二年

田爪 亮也

風通る静かな教室青い空勇気をだして手を上げた

兵庫県篠山市立丹南中学校

二年

西嶋 凜

あの笑顔あの歩き方あの手つきすべてが私を下キドキさせる

大阪教育大学附属平野中学校

二年

井之上 璃吏華

静かさにキーボードの音カカカタとプログラム組み画面をにらむ

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

二年

飯森 祐太

水曜の夜のエフエムラヂオにはいつものラヂオネエムのあなた

愛知県名古屋高等学校

二年

塩崎 達也

反抗期トゲトゲしてる外側と甘い中身の栗の毎日

沖繩の花が飛んでく台風日基地も一緒に消えればいいのに

黒板の文字から生まれた怪物に僕のやる気は食べられていく

### 新温泉町教育長賞

着納めの作業着照らす夕焼けがお疲れ様と僕を称える

成長した我が子をおんぶするかのようたわなに実る校庭の柿

亡き人に時巻き戻し逢いにゆく闇夜をさいた流れ星より

実習の人生初の旋盤で回る機械に圧倒される

五線譜の上おたまじゃくしの大渋滞私の指は十本ですよ

席から見るみんなの背中ブレザーが馴染んで見える2年の2学期

カーテンのすきまにこぼれる日の光夢で聞える先生の枕草子

足早に春夏秋冬過ぎて行き戦を知るのもウージ畑

あの日見た水族館のクラゲ達いつまでも思っつきみといた春

アナウンス聞いて出港カニ漁船霧消えるまで大きく手を振る

### 神戸新聞社賞

登校中しかの鳴き声聞こえてく明日の給食シビエなのかな

虫持った経験のない人にも扱いやすいシロコブゾウムシ

ブンブンとフランコ動く風がこぐまるで誰かを呼んでいるよう

長野県穂高商業高等学校 二年 赤羽圭衣

沖繩県立読谷高等学校 三年 利根川和宏

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 三年 箕口歩志

長野県上伊那農業高等学校 三年 山崎郁弥

愛知県立名古屋養護学校 二年 坪井雅也

大阪教育大学附属平野中学校 二年 中村那泳

鹿児島県立鹿児島工業高等学校 一年 大山幸之助

静岡県静岡市立清水第八中学校 二年 加茂波留香

長野県穂高商業高等学校 二年 三枝 萌

大阪府立大塚高等学校 一年 山田佳也

沖繩県立読谷高等学校 三年 又吉世蘭

兵庫県立尼崎高等学校 一年 松原萌桂

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 三年 谷口春樹

宮崎県西米良村立西米良中学校 二年 濱砂康生

兵庫県三田市立狭間中学校 二年 高松遥大

ワシントン日本語学校 一年 カルボスキ―田莉香

佳  
作

スタート台に上がって見つめる水面を光りが走り水へ飛び込む	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	一年	新豊功晟
おばさんに中二と聞かれ困惑する背すじ正して高二と答える	長野県穂高商業高等学校	二年	笠井夢華
数学の課題の空白埋まらずに焦りと時間が反比例する	愛知県立豊橋西高等学校	一年	田中 茜
手を挙げてないのに先生指名する小規模校のこれが日常	青森県佐井村立福浦中学校	三年	田中明日香
厄多き年を納めて淀のなぎブルーシートの屋根の連脈	兵庫県神戸市立葦合高等学校	二年	杉山茉紘
授業中消しカスずっと投げていたあの夏にもう一度戻りたい	大阪府立摂津高等学校	一年	平田杏菜
スタートと同時にきこえる応援がきみの声だけ大きくきこえる	大阪府立摂津高等学校	一年	長島 聖
汗流し育てた巨峰噛みしめるあふれる果汁に笑顔こぼれる	長野県上伊那農業高等学校	三年	工藤汐莉
響かせる相手の心に響かせる心に残る音色をつくって	兵庫県三田市立狭間中学校	二年	長野まりん
朝読書静まり返った教室にページをめくる音だけ響く	岐阜県美濃加茂市立西中学校	一年	太田貴悠
怒られてやめたくなくなる時あるけれど吹くと忘れる吹奏楽部	長野県長野市立三陽中学校	二年	越 菜々子
夕方にふと見た空のグラデーション数十分で消える儚さ	大阪教育大学附属平野中学校	三年	宮本彩万音
目が合って急いでそらすまた見ちゃう私どうやら恋をしている	大阪教育大学附属平野中学校	三年	松井心暖
県総体この一本に気持ち込め汗を流した夏が終わった	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	三年	原口優太
気づいたらおれのシュートはまっすぐにゴールネットに突きささっている	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	一年	園田優太
部活後に空を見上げて夕暮れがつかれた太陽俺もつかれた	静岡県静岡市立清水第八中学校	二年	南 信伍
観覧車4人で乗ろうと君の声ゆれる心とゆれるゴンドラ	静岡県静岡市立清水第八中学校	二年	金田大和

放課後に君から借りた赤い傘返さぬままに季節は過ぎる

空見上げいわし雲だどつぶやいた小さい頃は乗れると思った

図書館に数目を解く女子のいて羽化のシグナル早まってゆく

昼休みガジュマルの木に身をかくし静かな世界時間よ止まれ

ゆるゆらりさらさら流れる加古川にうつっているのはまんまるの月

いつからか頭にいっぱい君だらけそれでも君は何も知らない

中学と制服変わり気分良く傷ひとつなく大切に着る

背丈伸び憧れていた父の背を越してしまった今日この頃

秋半ば清水寺の紅葉を上から見おろす夕焼けの空

戸ノ内へ一人で乗った路線バス新幹線が遠くから見える

男なら強く女なら優しくと決めるな日本蜂飛び回る

「はい止めて」テスト終了腕を上げ僕たちの休みが走り出す

風よりも軽い水馬井戸あめんぼの中無言の足音広がる水輪

赤い実を一つくわえて去ってゆく同じ色したヒヨトリの頬

かるがると言葉の壁をどびこませて台湾の友とはぐくむ友情

おかえりと駆け寄る白いつつフフフの四足歩行のこの子は弟

長野県穂高商業高等学校

二年

瀧澤真夏

長野県穂高商業高等学校

二年

中村樹夢佳

長野県穂高商業高等学校

二年

林 寛人

沖縄県立読谷高等学校

三年

辺土名妃蘭

兵庫県立高砂高等学校

一年

中山歩実

兵庫県立神崎高等学校

三年

村岡茉奈

兵庫県立尼崎高等学校

一年

有賀哀斗

兵庫県立尼崎高等学校

一年

田中淳哉

兵庫県立尼崎高等学校

一年

景山拓斗

兵庫県立尼崎高等学校

一年

作山尚輝

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

三年

尾崎駿也

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

一年

清原涼太郎

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

三年

岡野利空

大阪府立夕陽丘高等学校

一年

楠本壮馬

大阪府立夕陽丘高等学校

二年

浦部愛菜

大阪府立夕陽丘高等学校

二年

真鍋萌々

【大学生の部】  
前田純孝賞

池を埋める「二天四海」の花蓮の葉まだ見ぬ花はどのよういに咲く

就実大学 三年 延原百花

【選評】

「二天四海」という名の蓮は、鳥取県の湖山池に自生していた蓮でしたが、池田光政公が鳥取から岡山に移った折に持ってゆき、今では岡山の後楽園の「花葉の池」の名物になっています。池一面に広がる葉を見て、花を想像している、場面の設定が、じつじうまい。

準前田純孝賞

水脈をひくように私は薄明の100mを駆け抜けている

広島大学 四年 西村康平

ゆつくりとほどけていくよあなたからもらった白いマフラーなのに

早稲田大学 二年 阿部圭吾

新潟県町長賞

びわの実に私の指が染まりゆく「美咲のため」とむく祖父はなく

就実大学 二年 山口美咲

桃の実をみのがす緑の深まりてわが赤磐の丘に来る夏

就実短期大学 一年 中島 舞

海音ちのわたしがもったこの力潮の匂いで天気分かる

川崎医療短期大学 一年 内島菜花

先生と子どもと呼ばれ気づいたこと小さいころの夢だったのだ

頌栄短期大学 二年 中井こころ

画用紙の向こうに見える君の顔時を惜しんでゆつくり描く

青山学院大学 二年 薄井映理菜

新潟県町教育長賞

ザク口の実も今は誰かのものとなり祖父母の家の小さき記憶

就実大学 二年 余傳茉鈴

大学と高校の距離変わらない私は九年自転車通学

川崎医療短期大学 一年 藤原志保

はじめての保育実習に行く前に準備するのは可愛い名札

頌栄短期大学 二年 國清未来

子どもからももらった私のたからもの鏡文字でのかわいい手紙

頌栄短期大学 二年 大下夏輝

お前だけなんだよなんてスボブラのメッシュ素材と同じ言い訳

高知県立大学 三年 矢野優理恵

底の苔を潜りたそうに打つヒシの光が虫の羽に似ている

就実大学 二年 児玉 梢

入学し半年経った今もなおみんななれない才二の階段

川崎医療短期大学 一年 高島若奈

夢に見る白衣の天使も楽しめない夜勤明けには飛べない天使

川崎医療短期大学 一年 森脇彩加

風が吹きざーとどんぐり落ちてきてどんぐりの雨と友がつぶやく

頌栄短期大学 二年 長谷川心

赤々とおのれからだ降らしている楓の下にまだ立ち尽くす

青山学院大学 二年 秋葉翔太

佳作

「香川町」の合併により「市民」なれど高松を「マチ」となお呼ぶ十年

就実大学 四年 森美紗樹

夏の夜の鬼おそろしき石見神楽幼き我は耳ふさぎ寝し

就実大学 三年 瀬田美鈴

秋が来ただんじり喧嘩の久世祭りおいさおいさと乗り手も客も

川崎医療短期大学 一年 豆原佑香

褥瘡じよくせうに咳嗽がいせう反射はんしやフアー位覚えたらすぐ使いたくなる

川崎医療短期大学 一年 木村鈴菜

友達と子どもの笑顔見かけてはかわいいねって先生の顔

頌栄短期大学 二年 竹本唯愛

5回目の保育の実習今までの課題克服少し成長

頌栄短期大学 二年 川崎七彩

やっぱりな。取っとしたカド丸まった消しゴムあの子に貸すんじゃないかった

青山学院大学 三年 小野和実

紐抜いてあたたかくなる駅弁の温もりはあの町のぬくもり

青山学院大学 三年 頼まりな

イヤホンを君と分け合い聞いている「星めぐりの歌」に星がこぼれる

青山学院大学大学院 一年 黄 郁婷

卒論を「我が子のように育てる」と子の「こく若き級友が笑む

広島市立大学大学院 二年 吉田 紋子

【学校表彰の部】

◆学校特別賞

就実大学 川崎医療短期大学 頌栄短期大学 長野県穂高商業高等学校 兵庫県新温泉町立浜坂中学校

◆学 校 賞

大阪府立夕陽丘高等学校 大阪教育大学附属平野中学校 兵庫県立尼崎高等学校 兵庫県立高砂高等学校 大阪府立摂津高等学校